

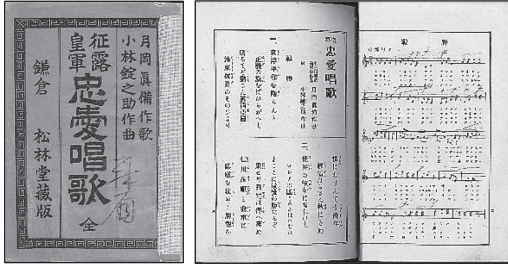
せいろうこうぐんちゅうあいしょうかせん

# #30 征露皇軍忠愛唱歌 全

作歌：月岡眞備（つきおか・まさよし 生没年不詳）

作曲：小林錠之助（こばやし・じょうのすけ 生没年不詳）

刊行：明治37年（1904）



※左より、表紙、楽譜・歌詞

## ♪ 解題

### ■ 内容

表紙に続いて目次があり、収録されている3曲の曲名が記されている。いずれも日露戦争（1904-1905）の様子を歌った軍歌である。各曲の歌詞の前に五線譜が付いており、1曲目と2曲目の間には、馬車の絵が描かれている。

1曲目の「戦勝」は4番まであり、「ウラル踰ゆるは何のその」「ピートル城外凱歌鳴り」といった歌詞から、ウラル山脈を越えてロシアの首都ペテルブルグまで攻め込むといった内容になっている。

2曲目の「旅順の夜襲」は、3番まである。歌詞に出て来る「速鳥」「朝霧」という船名は、ともに明治36年（1903）、横須賀海軍工廠で建造された駆逐艦で、明治37年（1904）4月12日夜、旅順口の機雷敷設の任に当たり、翌日ロシア艦隊の旗艦「ペトロバウロフスク」を触雷轟沈させた。歌詞はそのことを表していると見られる。

3曲目の「嗚呼山中少佐」は3番まであり、歌詞に出て来る「富士」「八島」「敷島」「初瀬」という船名は、全てイギリス製の戦艦のことである。歌

詞は「富士」に乗っていた「山中少佐」という人物が、船上で砲丸を受けて戦死した様子を表している。

国立国会図書館サーチによると、公共図書館では他館の所蔵は無く、当館でのみ所蔵が確認できる。

#### ■ 作者

作歌の月岡真備は神奈川県師範学校教諭で、『神奈川県師範学校一覧 明治44年5月』によれば、明治34年（1901）11月27日に就職、明治37年（1904）6月22日に退職しており、「族籍」が「長野縣士族」となっている。また、『神奈川県友松会雑誌 第13号』（1904）に「英語修得方法」を三堀春吉とともに掲載している。

作曲の小林錠之助も神奈川県師範学校教諭である。『神奈川県師範学校一覧 明治44年5月』によれば、明治22年（1889）12月24日に就職し、同書が発行された時点ではまだ現職で、「族籍」が「東京府士族」となっている。

『鎌倉教育史』によれば、大正2年（1913）に制定された鎌倉市立玉縄小学校校歌を作曲している。また、国立国会図書館サーチによると、唱歌集の『小学生徒用新唱歌志きしま』（1893）と『鎌倉唱歌』（1904）において作曲を担当している。

#### ♪ 参考文献

・『小学生徒用新唱歌志きしま』根岸小弥太作歌 小林錠之助撰曲 根岸小弥太 1893

※当館未所蔵 国立国会図書館デジタルコレクション(インターネット公開)で閲覧可

・『神奈川県友松會雑誌 第13號』神奈川県友松会 1904 [K37.4/19/13]

・『鎌倉唱歌』倉田かつら作歌 小林錠之助作曲 澤寅太校閲 林初三郎 1904

※当館未所蔵 鎌倉市中央図書館所蔵

・『神奈川県師範学校一覧 明治44年5月』神奈川県師範学校 1911 [K37/139/2a]

・『鎌倉教育史』鎌倉市教育研究所編 鎌倉市教育委員会 1974 [カン/M5/カマ] [K37.4/31]

- ・『聯合艦隊軍艦銘銘伝』片桐大自著 光人社 1988 [557/12]